

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																																					
専門学校金沢美専		昭和51年4月1日		野沢 道生		〒920-0919 石川県金沢市南町6番12号 (電話) 076-234-3311																																																					
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																																					
学校法人 国際ビジネス学院金沢		昭和30年3月24日		大聖寺谷 敏		〒920-0919 石川県金沢市南町6番12号 (電話) 076-234-3311																																																					
分野		認定課程名		認定学科名		専門士		高度専門士																																																			
		文化教養専門課程		ビューティー総合学科		平成6年文部科学省 告示第84号		-																																																			
学科の目的		本校は教育基本法及び学校教育法に則り、専門的な知識技能を習得させ、円満なる人格と豊かな情操を養い、もって実社会に直ちに役立つ、有為な人材を養成することを目的とする。																																																									
認定年月日		平成 26 年 3 月 31 日																																																									
修業年限		昼夜		講義		演習		実習		実験		実技																																															
2 年		昼間		1796時間		300時間		420時間		1076時間		0時間		0時間																																													
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数		総教員数																																																	
80人		53人		0人		4人		5人		9人																																																	
学期制度		■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日				成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 実技・筆記試験、授業態度、出席率を総合的に評価																																																			
長期休み		■学年始め:4月8日 ■夏季:7月21日~8月31日 ■冬季:12月21日~1月7日 ■学年末:3月4日				卒業・進級条件		1850時間以上履修の者 進級条件なし																																																			
学修支援等		■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 家庭訪問、本人・保護者面談				課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ボランティア活動(清掃・福祉) ■サークル活動: 有																																																			
就職等の状況※2		■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) エステティックサロン、化粧品販売企業、化粧品メーカー、ネイルサロン、トータルビューティーサロン ■就職指導内容 授業での就職活動の進め方、履歴書の書き方、求人票の見方、面接指導及び個別での履歴書添削、面接指導その他進路指導、活動支援 ■卒業者数 37 人 ■就職希望者数 37 人 ■就職者数 37 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 0人 (平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)				主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)																																																			
								<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ICAM3-エステティクート1(ホテイ)</td> <td>③</td> <td>34人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>ICAM3-エステティクート1(フェイシャル)</td> <td>③</td> <td>37人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>ICAM3-エステティクート2(ホテイ)</td> <td>③</td> <td>33人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>ICAM3-エステティクート2(フェイシャル)</td> <td>③</td> <td>33人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>DMCI7リメール</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>ネイル技能検定3級</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>美容ライト脱毛講習会</td> <td>③</td> <td>13人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>ICAM1-別ビューティ部門 フォトハンドヘルズ2</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>ICAM3-エステティクート部門 コスメティックライゼス</td> <td>③</td> <td>10人</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>アロマ検定1級</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>DCMIアウアンセ</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	ICAM3-エステティクート1(ホテイ)	③	34人	38人	ICAM3-エステティクート1(フェイシャル)	③	37人	38人	ICAM3-エステティクート2(ホテイ)	③	33人	27人	ICAM3-エステティクート2(フェイシャル)	③	33人	31人	DMCI7リメール	③	36人	36人	ネイル技能検定3級	③	36人	29人	美容ライト脱毛講習会	③	13人	11人	ICAM1-別ビューティ部門 フォトハンドヘルズ2	③	15人	11人	ICAM3-エステティクート部門 コスメティックライゼス	③	10人	9人	アロマ検定1級	③	12人	6人	DCMIアウアンセ	③	4人	3人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																																								
ICAM3-エステティクート1(ホテイ)	③	34人	38人																																																								
ICAM3-エステティクート1(フェイシャル)	③	37人	38人																																																								
ICAM3-エステティクート2(ホテイ)	③	33人	27人																																																								
ICAM3-エステティクート2(フェイシャル)	③	33人	31人																																																								
DMCI7リメール	③	36人	36人																																																								
ネイル技能検定3級	③	36人	29人																																																								
美容ライト脱毛講習会	③	13人	11人																																																								
ICAM1-別ビューティ部門 フォトハンドヘルズ2	③	15人	11人																																																								
ICAM3-エステティクート部門 コスメティックライゼス	③	10人	9人																																																								
アロマ検定1級	③	12人	6人																																																								
DCMIアウアンセ	③	4人	3人																																																								
中途退学の現状		■中途退学者 1 名 平成28年4月1日時点において、在学者65名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者64名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 外部機関のアンケート調査に基づく退学準備への個別面談の実施				■中退率 1.5 %																																																					
経済的支援制度		■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: ○有・無 ※有の場合、制度内容を記入 入学前技術特待生奨学金…入学前技術講習を行い、試験を実施。一定基準を満たす者については、後期授業料の一部を減免 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																																									
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価: ○有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																																																									
当該学科のホームページURL		http://beauty.kbg.ac.jp/																																																									

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ビューティー業界が真に求める人材像及び最新の知識・技術・技能を教育内容に反映するため、ビューティー関連企業、関係団体等との連携により、広く意見を取り入れカリキュラムの改善等の教育内容の改善を定期的に行う

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

上記方針に基づき、ビューティー関連企業、関係団体等からの委員を含め教育課程編成委員会を学校組織内に設置し、カリキュラム改善等への意見・助言を頂く。頂いた意見・助言を基に、カリキュラム等の改善を検討し、より実践的かつ専門的なカリキュラム作成に活用する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
浅田 明晴	石川エステティック協同組合	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	①
熊野 友勝	株式会社 インターステイト	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
川上 研二	株式会社 フロンティア	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
東 千枝子	専門学校金沢美専	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
高崎 千愛	専門学校金沢美専	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
鹿島 恵	専門学校金沢美専	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

教育課程編成委員会は年2回(8月・2月を予定)開催する。また、必要に応じて開催する

(開催日時)

第1回 平成29年8月30日 10:00～11:00

第2回 平成30年2月 6日 10:00～11:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

カウンセリング、営業等の接客力の向上を図るためには、サロンワークをいかに実践的に実施できるかがカギとなるという意見を受け、学外に店舗を構え、その営業を通して実践的スキルの向上を図るように計画立案。また、2年次にサロンワークを重視できるように、1年次に基礎を固められるようにカリキュラムを改善。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

「専門産業の発展に貢献できる社会人の要請」を建学の精神とし、夢を追い続ける情熱を持ち、高い専門能力を社会で発揮できる人材を養成するため、「社会人力」の向上を図ることを基本方針とする。
 学校の建学の精神、教育理念、カリキュラムの構成、学生に対する教育方針のすべてを承諾し、これに基づき講義、指導をなし、もって本校の運営に協力するものとする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

サロンワークの担当教員は、企業・業界団体等の者から、実務に関する最新の知識、指導方法に対する助言、資料等の提供を受け、実践的な授業の改善・工夫を行う。また、修了後には学生の学修成果の評価を踏まえ、更なる改善・工夫の助言等を得る。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
サロンワーク基礎	2年次からのサロン実習に向けて、その準備期間としサロン研究やサロン実習、接客ノウハウなどを学ぶ。	石川エステティック協同組合 株式会社インターステイト
エステサロン実務	エステティシャンとして技術力、カウンセリング力、接客力を身に付けるためのサロン実習を通じた実践授業	株式会社 アキトカンパニー 石川エステティック協同組合

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

企業へ担当教員を定期的に派遣し、企業ごとの理念、求める人材像・スキル、学校教育との連動について研究し、該当学生に対して企業から派遣される講師と本校教員が合理的に指導出来るよう逐一打合せを行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成29年11月 化粧品メーカーインストラクターによる化粧品の販売力向上のための講義受講(ヴィンテージ株式会社)

平成28年1月 脱毛技術講習会の受講

平成29年3月 JECCエステティック試験センターの統一資格の指導講師認定試験受験

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成28年11月 エステティックグランプリ中部支部主催講習会への参加

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

平成29年7月 メイクアップフォーエヴァー、メイクアップアーティストによるメイクアップ講座受講

平成29年10月 DNA検査を活かした痩身プログラム提案のための講義を受講

② 指導力の修得・向上のための研修等

平成29年11月 エステティックグランプリ中部支部主催講習会への参加

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

企業等の「学校関係者」による意見交換等を通じて自己評価結果についての評価を行うとともに、教職員と共通理解を図り、自己評価結果の客観性・透明性を高め、今後の学校運営改善のための助言等を行う

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校が教育を行う理念が明確に定められているか ・ 理念は教職員・学生に周知されているか ・ 学校が教育を行う目的・育成人材像などが明確に定められているか ・ 目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか ・ 目的は、時代、業界、学生のニーズに対応しているか ・ 目的・育成人材像は教職員・学生に周知されているか ・ 目的は時代の変化に対応しその内容を適宜見直されているか ・ 学校の将来構造を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の目的・目標に基づき学校運営方針は明確に定められているか ・ 学校の目的・目標を達成するための事業計画が定められているか ・ 学校は事業計画に沿って運営されているか ・ 意思決定システムは確立されているか ・ 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか ・ 意思決定の階層・権限等は明確か ・ 業務効率化を図る情報システムがなされているか ・ 学校運営方針はきちんと教職員に明示され伝わっているか ・ 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか ・ 運営組織はあるか ・ 運営組織や意思決定機能は、学校の目的・目標を達成するための効果的なものになっているか
(3) 教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育目標・育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに合致しているか ・ 教育目標・育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育機関を勘案して、到達することが可能なレベルとして明確に定められているか ・ カリキュラムは教育理念、目的達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか ・ カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか ・ カリキュラムを編成する体制は明確になっているか ・ 学生による授業評価をしているか ・ 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか ・ 成績評価・単位認定に基準は明確になっているか ・ 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか ・ 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか
(4) 学修成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか ・ 就職製菓とその推移に関する情報を明確に把握しているか ・ 資格取得率の向上が図られているか ・ 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか ・ 退学率の低減が図られているか ・ 入退学者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか ・ 卒業生・在校生の社会的活動及び評価を把握しているか ・ 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか ・ 在校生や卒業生の作品や発表が外部のコンテスト等で評価されたか ・ 在校生や卒業生の作品や発表が外部のコンテスト等で評価された例として特筆できるか

<p>(5) 学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され有効に機能しているか ・ 就職に関する説明会を実施しているか ・ 就職に関する学生個別相談を実施しているか ・ 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか ・ 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され有効に機能しているか ・ 奨学金制度が整備され有効に機能しているか ・ 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され有効に機能しているか ・ 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか ・ 定期的に健康診断を行うなどの学生の健康面への支援体制はあるか ・ 学生の健康管理を担う組織体制があり有効に機能しているか ・ 学生からの健康相談等に専門的に応じる医師・看護師等がいるか ・ 学生相談に関する体制は整備され有効に機能しているか ・ 学生相談室を開設しているか ・ 学生からの相談に応じる専門カウンセラーがいるか ・ スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され有効に機能しているか ・ 保護者と適切に連携しているか ・ 同窓会が組織され活発な活動をしているか ・ 卒業生をフォローアップする体制が整備され有効に機能しているか
<p>(6) 教育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・ 施設・設備のメンテナンス体制が整備され有効に機能しているか ・ 施設・設備の更新に関する計画を立てて計画通りに更新しているか ・ 学外学習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか ・ 学外学習、インターンシップ、海外研修等についてその実績を把握し教育効果を確認しているか ・ 防災に対する体制は整備され有効に機能しているか ・ 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか ・ 実習時等の事故防止の体制は十分か ・ 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか ・ 防災訓練を実施しているか ・ 学生の問題行動について対応できているか
<p>(7) 学生の受入れ募集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生募集活動は適正に行われているか ・ 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かりやすいものとなっているか ・ 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか ・ 募集定員を満たす募集活動となっているか ・ 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか ・ 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか ・ 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか ・ 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか ・ 学費は教育内容、学生および保護者の負担感を考慮し、妥当なものとなっているか ・ 学費に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか

(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか ・ 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか ・ 年度予算・中期計画は、目的・目標に照らして有効かつ妥当なものとなっているか ・ 予算は計画に従って妥当に執行されているか ・ 財務について会計監査が適正に行われているか ・ 会計監査を受ける側、実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか ・ 私学学校法における財務情報公開の体制整備は出来ているか ・ 私学学校法における財務情報公開の形式は考えられているか
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・ 志願者、学生や卒業生及び教職員等、学校が保有する個人情報に関しその保護のための対策が取られているか ・ 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか ・ 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか ・ 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか ・ 自己点検・自己評価を定期的の実施し、問題点の改善に努めているか ・ 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか ・ 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか ・ 自己点検・自己評価結果を公開しているか ・ 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか ・ 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・ 学生のボランティア活動の状況を把握しているか ・ 広く教育機関、企業・団体及び地域との連携・交流を図っているか ・ 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか ・ 学校の施設・設備を開放するなど地域社会と連携しているか ・ 重要な社会問題について学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか ・ 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

企業等の「学校関係者」による意見交換等を通じて自己評価結果についての評価を行うとともに、教職員と共通理解を図り、自己評価結果の客観性・透明性を高め、今後の学校運営改善のための助言等を行う。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
浅田 明晴	石川エステティック協同組合	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
熊野 友勝	株式会社 インターステイト	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員
川上 研二	株式会社 フロンティア	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: <http://beauty.kbg.ac.jp/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者に対する情報提供に関しては必要な情報の内容を精査し、それに応じた情報提供を行うとともに提供する情報が古いものにならないよう、定期的に更新するなど最新の情報提供に努める。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	<ul style="list-style-type: none"> <学校の概要> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の沿革・歴史 ・ 所在地、連絡先等 ・ グループ校 <目標及び計画> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の教育理念
(2) 各学科等の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学者数 ・ 就職者数 ・ 学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等 ・ 資格取得実績
(3) 教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職支援等への取組状況(企業等との連携による具体的な取組)
(5) 様々な教育活動・教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課外活動(サークル活動、放課後活動、学生会活動)等の状況
(6) 学生の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用できる就学支援措置の内容等(授業料免除措置、奨学金等の案内等)
(8) 学校の財務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸借対照表、収支計算書
(9) 学校評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価・学校関係者評価の結果 ・ 評価結果を踏まえた改善方策
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法 : ホームページ

URL: <http://beauty.kbg.ac.jp/>

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ビューティー総合学科) 平成29年度 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			総合美容学	総合美容に必要な基礎知識である、美容皮膚科学・解剖生理学・化粧品学・関連法規・栄養学・サロンマネジメント学を学びます。	1通	90		○			○		○		
○			エステティック基礎	フェイシャル・ボディに関わる基本的な知識を学ぶ。	1前	100				○	○		○		
○			ネイル基礎	ネイルケアやカラーリングの基礎技術を学びます。また、ネイルアートの基礎も学びアートの表現力も習得する。	1前	80				○	○			○	
○			メイクアップ基礎	メイクアップの役割や道具の使い方、個々の顔の作りや雰囲気合ったメイクを施す力を身につける。また、お客様の思い描くイメージを形にしていけるように、絵コンテを作成し、忠実に描く力も身につける。	1前	80				○	○			○	
○			プリメール	DMC I 検定に必要な想像力、表現力、プレゼン力の基礎を学ぶ。	1前	10				○	○		○		
○			サロンワーク基礎	2年次からのサロン実習に向けて、その準備期間としサロン研究やサロン実習、接客ノウハウなどを学ぶ。	1通	120		○			○		○		○
○			ビューティークリエイションI	見た目の美しさを作り上げる秘訣だけでなく、心の美しさや物事の考え方、健康についてなどの自分磨きや、考案・政策・表現を目的として、チームで作品を作り上げる授業。	1前	40		○			○		○		
○			総合実習	業界で流行の技術・知識習得を目的とする授業。流行の根底を理解し、お客様へのアドバイスに生かす。	1通	30				○	○		○		
合計															
					14	科目	950単位時間(単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ビューティー総合学科) 平成29年度 1年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		エステティック	フェイシャル・ボディ応用技術を修得し、理論に基づく身体構造や肌を理解し、個々に合わせた技術力の幅を持たせる。また、エステティック機器習得も行う。	1後	280			○	○		○			
	○		メイクアップ	基礎から応用まで、TP0に合わせたメイクアップテクニックを身に付ける。フォトコンテストにもチャレンジし全国レベルの技術アップを図る。	1後	280			○	○			○		
	○		ネイル	ジェルネイル習得。サロンワークで実践できるよう、個々の顧客に対応出来るジェルネイルデザインスキルを身に付ける。またネイルコンテストにもチャレンジし、技術のレベルアップを図る。	1後	280			○	○				○	
○			サロン接客	サロン接客として、立礼、電話対応、カウンセリング話法、誘導の方法を知り、実際にサロンワークが実践できる力を養う。	1通	60		○		○		○			
○			就職サポート	自己分析、履歴書作成、面接練習など、就職活動の下準備を行う。	1通	30		○		○		○			
○			ホームルーム	社会人としての意識の持ち方を学ぶ人間力を育むために、ホームルールを授業と位置付ける。	1通	30		○		○		○			
合計				14 科目	950単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等
	1学年の学期区分 2期
	1学期の授業期間 15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ビューティー総合学科) 平成29年度 2年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
			ビューティークリエーション	見た目の美しさを作り上げる秘訣だけでなく、心の美しさや物事の考え方、健康についてなどの自分磨きや、考案・政策・表現を目的として、チームで作品を作り上げる授業。	2前	20			○		○		○		
			総合美容学Ⅱ	エステティック、コスメティックに共通する知識の習得。 I C A M国際ライセンス筆記試験合格を目指す。(過去問では正解率90%を目標とする)	2通	90			○		○		○		
			脱毛学	美容ライト脱毛をはじめとする脱毛の理論について学ぶ	2通	36			○		○		○		
			アロマ学	アロマセラピーを学び、エステティックの施術に取り入れられるよう、セラピストとしての知識を養う。	2通	80			○		○		○		
			メイク実習	メイクに関する基礎知識を学び、トータルビューティシャンとしての技術を身につける。	2通	170					○	○			○
			コスメフェイシャル実習	コスメティックアドバイザーとしてのお客様のお肌のお手入れができるよう、フェイシャル技術を身につける。	2通	196					○	○			○
			I C A Mコスメ実習	プロフェッショナルライセンスの取得を目指す。メイクアップに関する応用技術の習得を目指す。	2通	140					○	○			○
			ネイル実習	衛生面を配慮したネイルケアとリペア、アートを身につけ、サロンワークレベルに到達することを目指す。	2通	96					○	○			○
			エステ総合実習	エステティックに関する技術・機器の扱いを習得する。特に瘦身の知識を深め、接客の基本を身につける。	2通	380					○	○			○
合計					16	科目	846単位時間(単位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

(文化教養専門課程ビューティー総合学科) 平成29年度 2年次															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		モデル実習	ウォーキング、ポージング、ヴォイストレーニングを通じてモデルとしての動きの基礎を学ぶ	2通	168				○					
	○		コスメサロン実務	コスメティックに係る基礎技術をもとに、お客様に対する販売力、提案力、集客力を身に付けるためのイベント企画・運営を通じた実践授業	2通	90			○		○	○	○		
	○		ネイルサロン実務	ネイリストとしての技術力、デザイン提案力、接客力を身に付けるためのサロン実習を通じた実践授業	2通	360			○		○	○	○		
	○		エステサロン実務	エステティシャンとして技術力、カウンセリング力、接客力を身に付けるためのサロン実習を通じた実践授業	2通	180			○		○	○	○		○
	○		レセプション実務	受付業務に必要な知識・高い接客技術を身に付けるためのサロン実習を通じた実践授業	2通	300			○		○	○	○		
○			就職サポートⅡ	自己分析、履歴書作成、面接練習など、就職活動の下準備を行う。	2通	30			○		○		○		
○			ホームルームⅡ	社会人としての意識の持ち方を学ぶ人間力を育むために、ホームルールを授業と位置付ける。	2通	30			○		○		○		
合計			16 科目			846単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。